

SIP自動走行システム ヒューマンファクター研究開発 2016年度 成果発表シンポジウム

～安全で快適な交通社会の実現に向けて～

2017.7.28 金 9:30～18:00

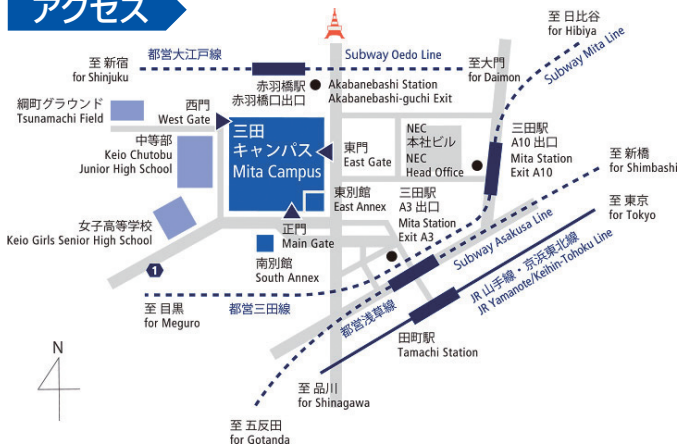
場所▶ 学校法人 慶應義塾 慶應義塾大学 三田キャンパス 北館ホール 〒108-8345 東京都港区三田2-15-45

定員▶ 200名〈定員になり次第締切〉 **参加費**▶ 無料〈事前登録制〉

主催▶ 国立研究開発法人 産業技術総合研究所
「自動走行システムの実現に向けたHMI等のヒューマンファクターに関する調査検討」コンソーシアム
(国立研究開発法人 産業技術総合研究所/国立大学法人 筑波大学/学校法人 慶應義塾 慶應義塾大学/
株式会社デンソー/東京都ビジネスサービス株式会社)

共催▶ 内閣府SIP自動走行システム推進委員会 **後援**▶ 日本人間工学会/自動車技術会/日本機械学会

アクセス



JR

山手線/京浜東北線「田町駅」西口 徒歩8分

都営地下鉄

浅草線/三田線「三田駅」A3またはA10出口 徒歩7分
大江戸線「赤羽橋駅」赤羽橋口 徒歩8分

お申込み

WEBサイトからのお申込みとなります。

seminar.tokyotobs-entry.jp/symposium/

事前登録制▶ 参加ご希望の方は
ホームページからお申込みください。

登録締切

2017年 7月26日(水)

※定員 200名になり次第、締め切らせていただきます。

お問い合わせ

シンポジウム事務局

〒135-8073 東京都江東区青海2-4-32 タイム24ビル 5F
東京都ビジネスサービス株式会社 クロスマーケティング部
Tel.03-6426-0482

プログラム (暫定)

オーラルセッション

(敬称略)

司会者 国立研究開発法人 産業技術総合研究所
自動車ヒューマンファクター研究センター 首席研究員 赤松 幹之

9:30~9:40 開会挨拶



内閣府 企画官
森下 信



国立研究開発法人 産業技術総合研究所
理事・情報人間工学領域 領域長
関口 智嗣

9:40~10:00 自動運転の研究開発動向



トヨタ自動車株式会社
先進技術開発カンパニー 先進技術統括部 常務理事
SIP自動走行システム・プログラムディレクター
葛巻 清吾

10:00~10:30 SIP自動走行システム ヒューマンファクター研究開発の背景と狙い



国立研究開発法人 産業技術総合研究所
自動車ヒューマンファクター研究センター 研究センター長
SIP自動走行システム ヒューマンファクター研究開発プロジェクトリーダー
北崎 智之

10:30~11:10 課題A「自動走行システムの機能・状態・動作の理解に関わる課題」の成果概要



国立大学法人 筑波大学
システム情報系 教授
研究開発プロジェクトサブリーダー
伊藤 誠

11:10~11:50 課題B「ドライバーの状態と自動走行システムの動作に関わる課題」の成果概要



国立研究開発法人 産業技術総合研究所
自動車ヒューマンファクター研究センター チーム長
研究開発プロジェクトサブリーダー
佐藤 稔久



株式会社デンソー
ADAS推進部 情報HMI開発室 担当部長
研究開発プロジェクトサブリーダー
田中 裕章

11:50~13:10 ランチ/ポスター自由閲覧

13:10~13:50 課題C「自動走行システムと他の交通参加者とのインターフェースに関わる課題」の成果概要



学校法人 慶應義塾 慶應義塾大学
理工学部 教授
研究開発プロジェクトサブリーダー
大門 樹

13:50~14:10 自動運転HMI標準化の取組み



一般財団法人 日本自動車研究所 所長補佐
ISO TC22/SC39/WG8 自動運転 Terms&Definitions TFコンビナー
小野 古志郎

14:10~14:30 自動運転実用化に向けた、日本自動車工業会の取り組み



株式会社本田技術研究所 四輪R&Dセンター 上席研究員(特任)
日本自動車工業会 自動運転検討会 主査
横山 利夫

14:30~14:40 休憩

ポスターセッション

(敬称略)

司会者

国立研究開発法人 産業技術総合研究所
自動車ヒューマンファクター研究センター
チーム長 武田 裕司

14:40~15:10 ポスターセッション (ショートプレゼン 3分×10件)

課題A「運転引継ぎについて 持つべき知識の内容」

筑波大学大学院 朴木 俊也

「運転介入が必要な状況に関する 知識を汎化しやすい表現」

筑波大学大学院 豊田 健志

「運転介入の必要性に関する表現主体: システム視点かドライバ視点か」

筑波大学 システム情報系 研究員 周 慧萍

自動走行の知識に関する調査 (ウェブ調査)

東京都ビジネスサービス株式会社
保坂 圭太

課題B「自動走行中のドライバー状態 評価指標の抽出:瞬目・ 眼球運動・視認行動の検討」

産業技術総合研究所 阿部 高志

「自動走行中のサブタスクがドライバー の心拍・血圧反応に及ぼす影響」

産業技術総合研究所 崔 多美

「わき見・意識のわき見が引き起こす テイクオーバーパフォーマンスの低下」

株式会社デンソー 千葉 元気

課題C「車両同乗観測に基づく ドライバー・歩行者間コミュニケーションの 手続きに関する研究」

慶應義塾大学大学院 横田 直樹

「公道観測から見えるドライバー間 コミュニケーションに関する研究」

慶應義塾大学大学院 中村 大希

コミュニケーションの 地域性に関する調査 (ウェブ調査)

東京都ビジネスサービス株式会社
保坂 圭太

15:10~17:00 ポスター発表